

羽村市・キルギス共和国

# 友好親善コンサート

～草原の風を感じて～

8/18  
SUN



三田りょう

ティチクエンタテインメント  
羽村市・キルギス共和国友好親善ボランティア大使



カリマン・ウメトバエワ



グルム・カシムバエヴァ



神宮寺直美



仲田真琴



設楽久美子



藤橋万記

日時: **2019年8月18日(日)**

開場PM3:30～ 開演PM4:00 START

会場: 羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホール  
東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

【チケット】全席指定 大人1,000円 小人300円(4歳～高校生)  
※4歳未満の膝上鑑賞は無料



司会  
川上綾香



TEL:042-570-0707  
(チケット9:00～20:00・月曜休館)

【主催】羽村市・羽村市教育委員会

【後援】キルギス共和国大使館

【協力】ゆとろぎ協働事業運営市民の会



# 出演者プロフィール

## 三田りょう

羽村市・キルギス共和国友好親善ボランティア大使  
キルギス・日本ビジネス協議会名誉顧問  
アラバエフ・キルギス国立大学付属日本学院理事  
テイチクエンタテインメント第1製作宣伝部  
あきる野市出身。  
2013年に日本とキルギス共和国友好ソング「風の旅人」を発表。  
その年からキルギス独立記念コンサートに毎年参加。  
2015年キルギスの盲目の歌姫グルム・カシムバエヴァと「草原の鍵」デュエット曲を発売。  
昨年より羽村市とキルギス共和国の友好的懸け橋として活躍している。

## グルム・カシムバエヴァ(KULUM KASYMBAEVA)

出身地:キルギス共和国 インククル州チュップ村  
・2012年キルギス・日本外交20周年記念式典にて日本の曲を歌いあげた  
・2013年キルギス共和国歌謡コンテスト全国大会 グランプリ(障がい者部門)  
・2013年三田りょう「風の旅人」の間奏にキルギス語の語りで参加  
・2001年2014年12月3日 障がい者の日 歌謡コンテスト全国大会1位  
9人兄弟の(2人の兄と7人の姉妹)末っ子。生まれた時から全く目が見えなかった。  
小さい時から歌が好きで、ラジオから流れる日本の曲にとても親しみを感じていた。  
キルギスでの言い伝えで「肉が好きな仲間は西に行き「キルギス人」になり、魚が好きな仲間は東に行き「日本人」になった」というのを聞いて、日本という国への憧れがあった。  
盲学校にいた時、日本の生花の話や聞き、日本文化に興味を湧き、いつか日本に行きたいと思っていた。  
盲学校を卒業した後、2001年から視覚聴覚障害者協会のコーラスクラブに所属してキルギスの歌を歌ってきた。  
JICAのボランティア隊員に「日本の歌が歌いたい。教えて欲しい」とお願いし、歌詞を点字にして覚え、曲を何度も聴いて歌えるようになった。  
2012年に「キルギス・日本外交20周年記念式典」で多くの聴衆の前で日本の歌2曲を歌ったことで日本大使から「感謝状」が贈られた。  
2013年に日本の演歌歌手「三田りょう」と知り合い、日本とキルギスの友好イメージソング「風の旅人」の間奏にキルギス語の語りで参加した。  
2014年にはキルギスで三田りょうとボランティアコンサートを行った。  
2015年に初の自身オリジナル曲(日本語詞)の「草原の鍵」と「黄昏をこのままに」をレコーディング。  
スリーフィールド(三田りょうの事務所)から日本でCDが発売されることになった。  
10月には安倍首相が中央アジアを歴訪した際にキルギス共和国で行われた晩餐会で「黄昏をこのままに」を披露した。  
2015年12月27日に初来日し「日本とキルギスを繋ぐ友好チャリティーコンサート」にて新曲を披露する。  
2016年3月9日に日テレの「のど自慢THEワールド2016春」に出演し優勝の栄冠を勝ち取りました。  
グルム公式HP:<http://gulum-official.jimdo.com>

## カリマン・ウメトバエワ(KALYIMAN UMETBAEVA)

キルギス(クルグズ)共和国ビシケク生まれ。キルギス国立音楽大学で民族音楽を専攻。  
卒業後、音楽教師としてビシケク第65番学校で子供たちにコムズなどの民族楽器を教える。  
ビシケク日本センターで日本語を学ぶ。2007年、東京藝術大学音楽研究科に入学。  
2010年、東京藝術大学大学院修士課程修了。  
2014年、東京藝術大学博士課程修了。  
博士(音楽学)。  
現在、東京音楽大学付属民族音楽研究所でコムズ講座を担当。  
三弦楽器のコムズ、金属口琴、木製口琴の演奏家としても活躍する。

## 神宮寺直美 (2010年から三田りょうコンサートツアーに参加。)

山陽女子高等学校 音楽学科卒。  
日本大学芸術学部ピアノ専攻卒。  
ライブアレンジ、指導、音楽専門学校の主任指導講師、リトミック講師をしながらテレビ、ラジオのCM作曲、DVDのイメージ曲  
舞台音楽、プラネタリウム等に楽曲提供。  
伴奏をはじめ、ソロやユニットを組んで演奏活動中である。

## 仲田真琴 (2010年から三田りょうコンサートツアーに参加。)

岡山学芸館高等学校吹奏楽特別コース卒。  
洗足学園音楽大学器楽学科サクソフーン専攻卒。  
大学在学中より、各地で演奏活動を開始。  
クラシックサクソフーンを富岡和男、仲田守の両氏に師事。室内楽を大和田雅裕氏に師事。  
ヤマハポピュラーミュージックスクール講師をする傍ら豪華客船でのコンサートなどクラシックだけではなく演歌、ジャズ、童謡まで幅広く活動中。

## 設楽久美子 (2019年から三田りょうコンサートツアーに参加。)

4歳よりヴァイオリンを始める。  
東邦中学校、東邦高等学校、東邦音楽大学卒業。東邦ウィーンアカデミー修了。  
第69回読売新人演奏会出演。  
ヴァイオリンを船橋扶美江、永井淳子、蓬田清重、J.スピトコバの各氏に師事。  
現在東邦中学校、東邦高等学校、東邦音楽学校非常勤講師・ヤマハ音楽教室にてヴァイオリン講師を務める。  
N響団友オーケストラや室内楽で演奏活躍中。

## 藤橋万記 (2013年から三田りょうコンサートツアーに参加。)

横浜生まれ、千葉育ちのパーカッションリスト。  
5才からピアノ、10才から打楽器をはじめめる。  
2001年キューバで明るく賑やかな中にも哀愁のあるラテン音楽に魅了される。  
打楽器を百瀬和紀、白石啓太の両氏に、ラテン音楽をキューバ国内外で活躍中の Yaroldy Abreu, Jose Espinosa, Tata Guines Jr., Mauricio Gutierrez の各氏に師事。  
2004年、キューバにてCD制作。  
2008年より、「スマイルコンサート」を千葉県成東文化会館にて主宰。  
2014年より、館山市城山ジャズフェスティバル連続出場。  
2015年、ラテンジャズユニットconviano「CONVIANO」、2018年には2ndアルバム「Los Tiempos」リリース。  
年間のライブ本数は250本を超え、至近距離でのパーカッションのライブを展開、ライブワークになっている。  
ラテンに限らずジャズ、ブラジリアン、シャンソンなどのサポートも多く、参加CDも多数。教育機関での公演や、職員対象の講習会なども好評を博す。

## 司会 川上綾香

埼玉県出身のキャスター・リポーター。  
TCN「三田りょうのラララでいこう♪」の  
アシスタントとして出演中。

# 2019年8月18日(日)

## 開場PM3:30~ 開演PM4:00 START

羽村市生涯学習センターゆとろぎ大ホール  
東京都羽村市緑ヶ丘1-11-5

[チケット] 全席指定 大人1,000円 小人300円(4歳~高校生)  
※4歳未満の路上鑑賞は無料

TEL:042-570-0707 (チケット9:00~20:00・月曜休館)